※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3023 |
|---|---|

# 令和８年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 論理・表現Ⅰ | 2 | 2 | Genius English Logic and Expression Ⅰ<br>ブレイクスルー 総合英語<br>ブレイクスルー プラクティス<br>カルステージ<br>システム英単語<br>英文法・語法 Vintage |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理・表現Ⅰでは、昨年度に続き英文法の基礎的な力を身につけます。話したり、書いたり、聞いたりする言語活動を通して、英語の語法や文法の理解・定着を目標にします。積極的に取り組みましょう。
・英語はコミュニケーションツールです。英語を使えるようになるためには、相手に自分のことを伝えようとする気持ちが大切です。そのためにも、間違いを恐れずに、自信を持って積極的に言語活動に取り組みましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・比較的聞き取りやすい身近な話題や自分が関心を持つ社会性のある話題について、情報や考えなどの概要をとらえることができる。<br>・自分の得意とする分野に関する自然な早さで話されるスピーチや会話を聞いて(３～５分)、ポイントをつかみながらに概要を理解することができる。<br>・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。<br>・身近なトピックについての短いニュースの要点を聞きとることができる。<br>・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。 | ・まとまりのある英文(説明、評論、物語、随筆など)を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨や詳細をとらえることができる。<br>・説明、評論、物語、随筆などを、聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。<br>・読む内容やジャンル、目的に応じて、読み方を変えることができる。<br>・読んだ内容に関する質問に対して、文章中の適切な語句を用いて答えることができる。<br>・文章の構成を考えながら読むことができる。<br>・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。 | ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめることができる。<br>・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見を伝えることができる。<br>・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。<br>・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。<br>・与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。<br>・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 | ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。<br>・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。<br>・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。<br>・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 | ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある文章を書くことができる。<br>・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、つなぎの語やフレーズを活用して、書くことができる。<br>・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を５パラグラフの形式で書くことができる。<br>・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。<br>・与えられた条件に合わせて、即興で書くことができる。 |

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 外国語の音声や語彙、表現、文法といった理解を深めるとともに、みにつけた知識を実際のコミュニケーションの場面において、目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。 | 日常的な話題や社会的な話題について、手に入れた情報や自らの考えを整理し、状況や目的に合わせて外国語を用いて適切に表現したり伝えあったりしている。また外国語で与えられる情報や、話し手、書き手の意図などを的確に理解している。 | コミュニケーションに関心を持ち、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、間違いを恐れずに積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４ 学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| １学期 | Unit1~5<br>“文型・時制” | 話すこと<br>(やりとり) | a: 基本文型や時制の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 時制を正しく用いて身近な話題についてやり取りしている。<br>c: 時制を意識して身近な話題についてやり取りしようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 基本文型や時制の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じた時制を正しく用いて発表している。<br>c: 声の大きさやアイコンタクトを意識して発表しようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 書くこと | a: 基本文型や時制の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 場面設定に応じた時制や表現を使っている。<br>c: 読み手を意識した文体を用いて書こうとしている。 | ライティング課題<br>定期考査 |
| | 中間考査 | | | |
| | Unit6~8<br>“助動詞・受動態” | 話すこと<br>（やりとり） | a: 助動詞や受動態の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて助動詞を正しく用いてやり取りしている。<br>c: 助動詞の意味の違いを意識してやり取りしようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 助動詞や受動態の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて助動詞を正しく用いて発表している。<br>c: 声の大きさやアイコンタクトを意識して発表しようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 書くこと | a: 助動詞や受動態の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 場面設定に応じた表現を使って書いている。<br>c: 読み手を意識した文体を用いて書こうとしている。 | ライティング課題<br>定期考査 |
| | 期末考査 | | | |
| 2 学期 | Unit9~11<br>“不定詞・動名詞” | 話すこと<br>（やりとり） | a: 不定詞や動名詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて不定詞や動名詞を正しく用いてやり取りしている。<br>c: 表現や意味の違いを意識してやり取りしようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 不定詞や動名詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて不定詞や動名詞を正しく用いて発表している。<br>c: 声の大きさやアイコンタクトを意識して発表しようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 書くこと | a: 不定詞や動名詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 場面設定に応じた表現を使って書いている。<br>c: 読み手を意識した文体を用いて書こうとしている。 | ライティング課題<br>定期考査 |
| | 中間考査 | | | |
| | Unit12,14,15<br>“分詞・関係詞” | 話すこと<br>（やりとり） | a: 分詞や関係詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて不定詞や動名詞を正しく用いてやり取りしている。<br>c: 表現や意味の違いを意識してやり取りしようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 分詞や関係詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて分詞や関係詞を正しく用いて発表している。<br>c: 声の大きさやアイコンタクトを意識して発表しようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 書くこと | a: 分詞や関係詞の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 場面設定に応じた表現を使って書いている。<br>c: 読み手を意識した文体を用いて書こうとしている。 | ライティング課題<br>定期考査 |
| | 期末考査 | | | |
| 3 学期 | Unit13,16,17<br>“比較・仮定法” | 話すこと<br>（やりとり） | a: 比較や仮定法の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて比較や仮定法を正しく用いてやり取りしている。<br>c: 表現や意味の違いを意識してやり取りしようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 比較や仮定法の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 状況に応じて比較や仮定法を正しく用いて発表している。<br>c: 声の大きさやアイコンタクトを意識して発表しようとしている。 | 授業観察<br>スピーキング課題 |
| | | 書くこと | a: 比較や仮定法の特徴やきまりについて理解している。<br>b: 場面設定に応じた表現を使って書いている。<br>c: 読み手を意識した文体を用いて書こうとしている。 | ライティング課題<br>定期考査 |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度